

学位プログラム DP レビュー

2024 年度 人間形成学科

1. 現状の説明

1) 授業実施評価レポート

成績評価アンケートの結果について学科内で検討を行った。殆どの学生が各項目で「なかった」と回答しており、概ね良好な結果であった。全体として成績評価の透明性・客観性・妥当性・公平性は確保されていると考えられるが、各項目に数名ずつ「一つ二つあった」という回答が見られた。自由記述では、評価方法に対するもの、評価方法に関する説明不足が推測されるもの、講義内容に関するものなどの指摘があった。その内容を科目担当者に伝えた結果、適切に評価方法の説明を行っており、主として学生の提出課題の質が充分でなかったことに起因する等の回答があった。一方で、提出課題に対するフィードバックを充実させるなど、次年度に向けた教育内容の改善の提案もあった。

成績分布について、受講者数が5名以下の科目について検討した結果、科目の必要性・妥当性について必要に応じて検討を行うこととなった。成績「不可」が多い科目は特に見られなかった。受講者数10名を超える科目で、S評価が受講者数の3分の2を超えていた科目については、2024年度に担当者変更となった科目も含まれている。2024年度以降の成績評価の確認を行い、成績基準の設定が適切かどうか推移を見守ることとした。

2) DP アンケート

全項目の平均値が4.6（5段階評価）であり、4年間での学習到達度は十分であると判断した。習得した専門的知識を踏まえて適切な対応プランを検討する力量（項目4）や、文献研究や調査・実験における技能と表現力（項目5）に関しては、やや低めの到達度（4.4）を示していたため、その指導方法・内容を工夫することが必要と考えられる。

3) 進路・資格試験・留年・退学状況

卒業者49名のうち、就職希望者36名の就職率は94.4%であった。就職先は、民間企業17名、社会福祉施設等6名、官公庁等5名、公立保育所5名、私立認定こども園1名であった。また、進学者は12名おり、国公立大学大学院に10名、私立大学大学院に2名進学した。保育・幼児教育または生涯にわたる心理臨床などに携わる専門的人材の輩出という、人間形成学科の教育目的と合致した進路を選択した卒業生が多く、良好な結果となったと考えられる。

留年・退学状況は、退学者数は4名、留年者数は4名であった。退学者4名のうち1年次の退学者は0名であったが、2年次以上には退学者が1名以上いた。また、留年者数については、2022年度は1名だったが、2023年度は4名に増加した。GPAに基づく学生支援を通して、履修状況等に課題のある学生を早めに把握し、教務部会員や学年担任、ゼミ教員等による支援を行う必要がある。

2. 2023年度対応プランの結果

2023年度は、（1）すべての科目で成績評価方法に関する説明を丁寧に実施すること、（2）シラバス通りの授業内容を実施することに加えて教員の指示内容に一貫性を持たせること、という2点を実施した。（1）に関しては成績評価アンケート結果より、学生からの成績評価に関する信用は全体として維持されたことが確認できた。（2）を実施した結果、自由記述において関連する意見は特に見られなかったため、目標を達成することができたと考えられる。

DP アンケートの結果については、平均値は4.6であり十分な学習到達度であったと考えられるが、専門的知識を活用する技能や表現力に関しては、やや低めの到達度（4.4）だった。そのため、指導方法・内容について工夫する必要があると考えられる。

進路に関しては、民間企業に加えて、公立保育所や社会福祉施設等に就職したり、臨床心理士・公認心理師資格取得を目指すために大学院に進学したりするなど、人間形成学科の教育目的と合致した進路を選択した卒業生が多く、本学科の教育成果が表れていると考えられる。

留年・退学状況については、留年者数は2022年度と比較すると2023年度は増加したため、GPAに基づく学生支援を通して、履修状況等に課題のある学生を早めに把握し、教務部会員や学年担任、ゼミ教員等による支援を行う必要がある。

3. 今回の課題と対応プラン

成績評価に関しては、すべての学年に対して、より丁寧に成績評価に関する説明や確認を行うこととする。成績分布については受講者数を踏まえ、科目の必要性・妥当性について必要に応じて検討を行う。

DP アンケートからは、専門的知識を活用する技能や表現力に関する課題があると思われるため、その指導内容・方法について検討する必要がある。

進路については概ね良好な結果を得られていたため、この状況を継続できるように学修支援・キャリア支援に取り組む必要がある。

4. DP 達成状況のまとめ

成績評価・成績分布の結果より、学生からの成績評価に対する信用は全体として維持されたこと、DP アンケートからは、全項目の平均値から学習到達度は十分であることが確認できた。進路・資格試験・留年・退学状況も概ね良好な結果であった。以上の結果から、本学位プログラムの実施状況は良好であるといえる。

添付資料：「DP アンケート結果報告」
「進路、資格試験、留年、退学状況」
「授業実施評価レポート」

人間形成学科 ディプロマ・ポリシーアンケート結果報告（2023 年度）

1.ディプロマ・ポリシーアンケートの結果

質問項目	平均値
1. 入学時に比べて、保育・幼児教育または心理学に関する専門的知識が増えた。	4.8
2. 入学時に比べて、保育・幼児教育または心理学における援助について理解できるようになった。	4.7
3. 入学時に比べて、保育・幼児教育または心理学に関する最近の話題（現代的課題）について自分なりに考えることができるようになった。	4.6
4. 入学時に比べて、保育・幼児教育または心理に関する諸問題に対して適切な対応プランを考えることができるようになった。	4.4
5. 入学時に比べて、文献を調べたり、調査・実験などを行ったりして自分の考えを適切に表現することができるようになった。	4.4
6. 入学時に比べて、保育・幼児教育または心理に関する課題をみつけ、検討することができるようになった。	4.5
7. 入学時に比べて、保育・幼児教育または心理学について学んだことを社会に活かしたいと思うようになった。	4.6
8. 入学時に比べて、保育・幼児教育的または心理的援助の場面で倫理を意識して行動することができるようになった。	4.6
9. 入学時に比べて、保育・幼児教育または心理に関する諸問題を検討するための方法を身につけることができた。	4.5
10.入学時に比べて、様々な立場にある人々に対する心理的または保育・幼児教育的な援助のスキルを身につけることができた。	4.6
全項目平均値	4.6

自由回答

自由記述なし

2.結果について

全項目の平均値が 4.6 であり、4 年間での学修到達度は十分であると考えられます。保育・幼児教育または心理学に関する専門的知識の習得に関しては高い到達度である一方で、保育・幼児教育または心理に関する諸問題に対して適切な対応プランを考えること（項目 4）や、文献を調べたり調査・実験などを行ったりして自分の考えを適切に表現すること（項目 5）は 4.4 とやや低めの到達度でした。習得した専門的知識を踏まえ、適切な対応プランを検討するための力量育成や、文献や調査・実験における技能習得と表現力向上を意図した指導が必要と考えられるため、その工夫について検討してください。

授業実施評価レポート

2024年度 心理コース・こどもコース

1. 2023年度の状況

① 成績評価アンケート

成績評価アンケートの結果について、教務・共通教育部会から報告を受け、学科内で内容の検討を行った。各項目の「なかった」の割合は、透明性：81.6%～97.8%、客観性：83.7%～93.5%、妥当性：87.8%～96.9%、公平性：87.8%～97.8%であり、概ね良好な結果であった。その一方、透明性に関しては1年生1名から「いくつもあった」と回答があった。

全体として成績評価の透明性・客観性・妥当性・公平性は確保されていると考えられるが、各項目に数名ずつ「一つ二つあった」と回答があることから、成績評価の方法についてシラバスへの記載やオリエンテーション時の説明のみならず、授業時間中においても再度説明や確認をするなどの工夫が必要と考えられる。2年生は1年次に引き続き、「一つ二つ」と回答している者の割合が高いようだったため、当該学年の学生に対しては、より丁寧に成績評価に関する説明を行う必要があることを確認した。

また、自由記述では、評価方法に対するもの、評価方法に関する説明不足が推測されるもの、講義内容に関するものなどの指摘があったため、科目担当者にその内容を伝えた。その結果、科目担当者は適切に評価方法の説明を行っており、主として学生の提出課題の質が充分でなかったことに起因するのではないかと回答があった。一方で、提出課題に対するフィードバックを充実させるなど、次年度に向けた教育内容の改善の提案もあった。

② 成績分布及び受講者数

受講者数が5名以下の科目について検討した結果、科目の必要性・妥当性について必要に応じて検討を行うこととなった。

成績に「不可」が多い科目は特に見られなかった。

受講者数10名を超える科目で、S評価が受講者数の3分の2を超えていた科目については、2024年度に担当者変更となった科目も含まれている。2024年度以降の成績評価の確認を行い、成績基準の設定が適切かどうか推移を見守ることとした。

2. 2023年度レポート対応プランの結果

2023年度は以下の2点について計画し、実施してきた。

① 学生に対する成績評価方法の説明及び成績評価の方法のさらなる改善

現状維持及び、さらなる改善を図るため、全科目において丁寧に成績評価に関する説明を行っていくこととなっていた。

実施した結果、学生からの成績評価に対する信用は全体として維持されたことが確認できた。

② 授業内での指示の一貫性及び具体性の向上

シラバス通りの授業を展開することに加え、指示の内容に一貫性を持たせることを教員が意識して、授業に取り組むこととなっていた。

実施した結果、自由記述で上記に関連するような意見は特に見られなかった。

3. 対応プラン

① 成績評価方法の説明の改善

全ての学年において、より丁寧に成績評価に関する説明や確認を行なうこととする。2023年度に既に対応を行ったものの、3年生は1～2年次において継続して成績評価に課題があると回答している者の割合が比較的高いようだったため、特に留意して成績評価の説明を行うこととする。

② 科目の必要性・妥当性の検討

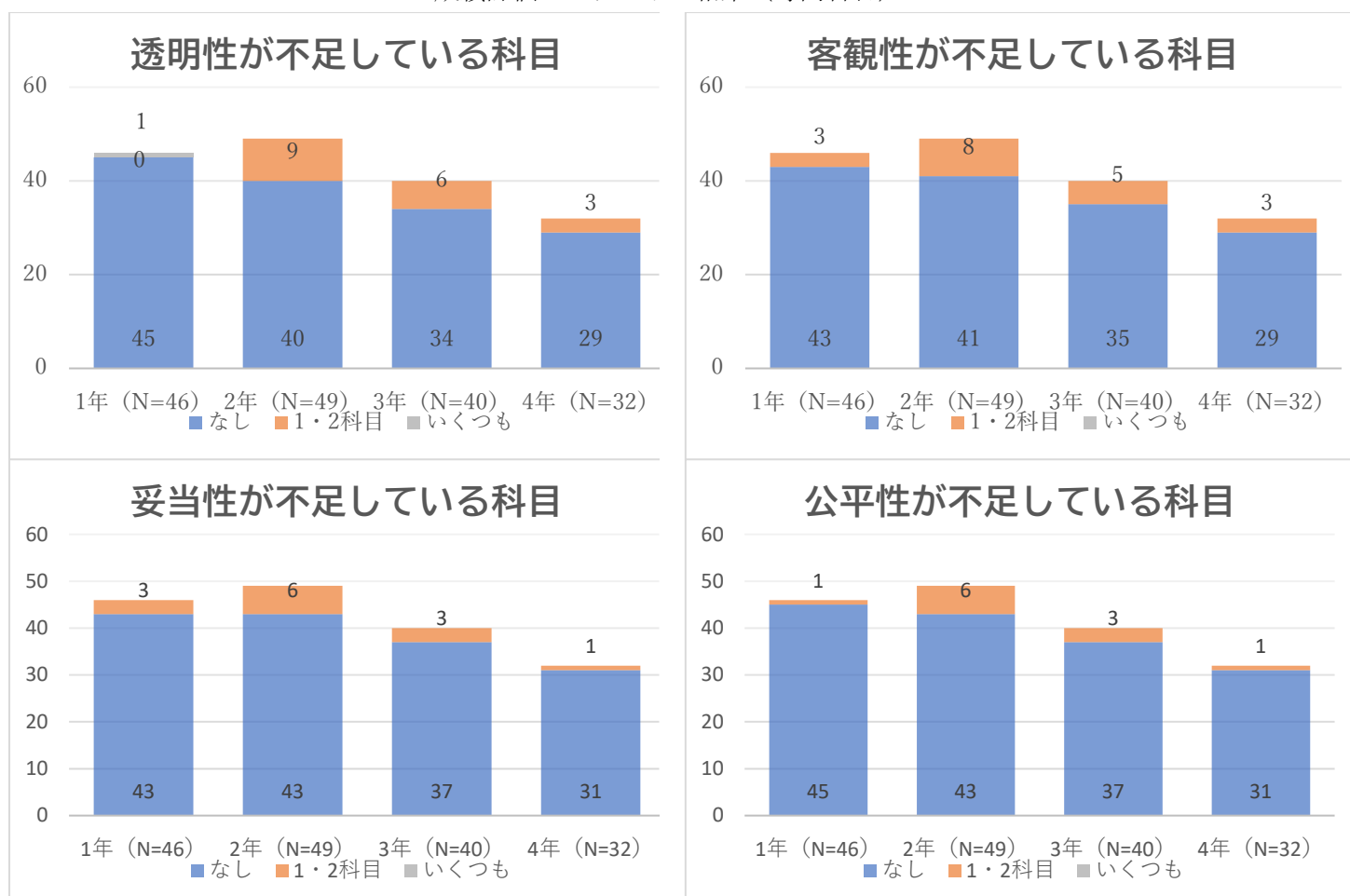
成績分布及び受講者数の資料を基に、科目の必要性・妥当性について必要に応じて検討を行うこととする。

添付資料

- ・人間形成学科成績評価アンケート結果報告
- ・人間形成学科専門教育科目および関連科目 受講者数及び成績結果状況報告
- ・人間形成学科カリキュラムマップ
- ・カリキュラムツリー（心理コース、こどもコース）

人間形成学科 成績評価アンケート結果報告（2023 年度）

1.成績評価アンケートの結果（専門科目）



表内の数値は人数

2.結果について

(1) 各項目の「なかった」の割合は、透明性：81.6%～97.8%、客観性：83.7%～93.5%、妥当性：87.8～96.9%、公平性：87.8～97.8%であり、概ね良好な結果です。その一方、透明性に関しては1年生1名から「いくつもあった」と回答がありました。

(2) 全体として成績評価の透明性・客観性・妥当性・公平性は確保されていると考えられますが、各項目に数名ずつ「一つ二つあった」と回答があることから、成績評価の方法についてシラバスへの記載やオリエンテーション時の説明のみならず、授業時間中においても再度説明や確認をするなどの工夫が必要と考えられます。2年生は1年次に引き続き、「一つ二つ」と回答している者の割合が高いようです。当該学年の学生の特徴である可能性も考えられるため、学科内でご検討ください。また、下記3に示す自由記述では、評価方法に対するもの、評価方法に関する説明不足が推測されるもの、講義内容に関するものなどの指摘があります。ご検討のほどよろしくお願いします。

人間形成学科 専門教育科目および関連科目 受講者数及び成績結果状況報告

2023年度の人間形成学科専門教育科目および関連科目の受講者数及び成績結果をお知らせします。

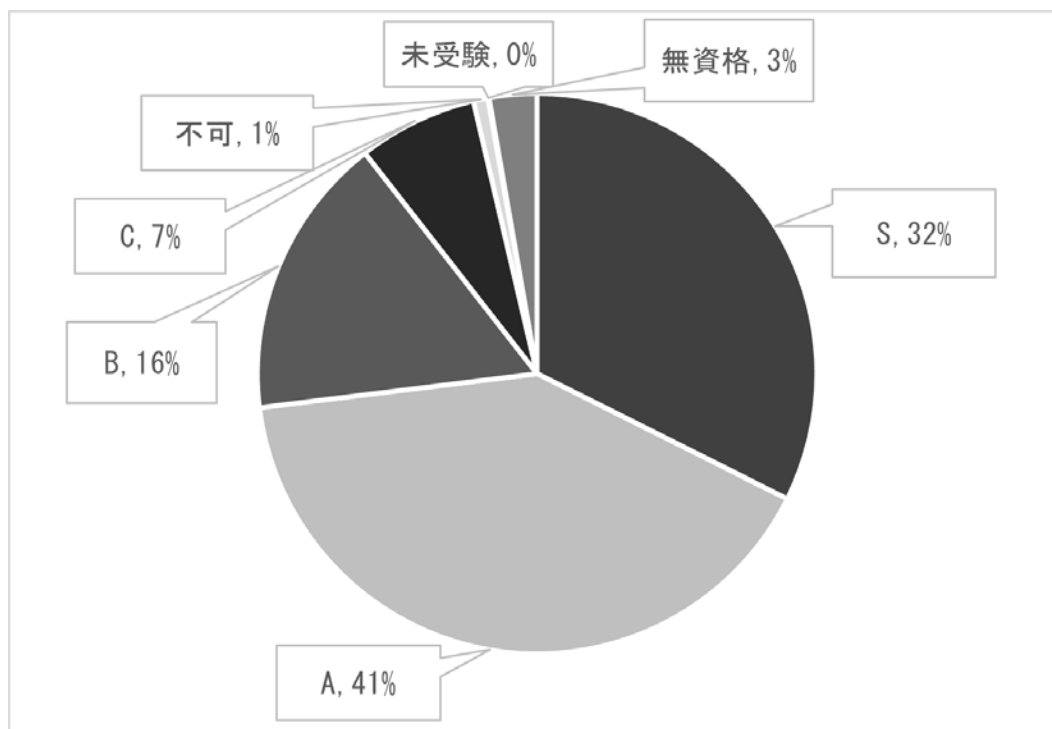
結果について

1. 受講者が5名以下の科目は、「社会福祉Ⅱ（1名）」、「社会教育特講B（1名）」「社会教育特講E（3名）」でした。以上の科目の履修状況について学科で検討してください。
2. 成績に「不可」が多い科目は特にありませんでした。参考までに「不可」が受講者数の1割を超えていた科目は、「社会教育論（10名中2名）」の1科目だったことを報告します。
3. 受講者数10名を超える科目において、S評価が受講者数の3分の2を超えていた科目（演習・実習科目を除く）は「保育者論（79.4% 27名／34名）」「加齢基礎論（80% 16名／20名）」の2科目でした。評価方法や成績評価方針について確認をしてください。

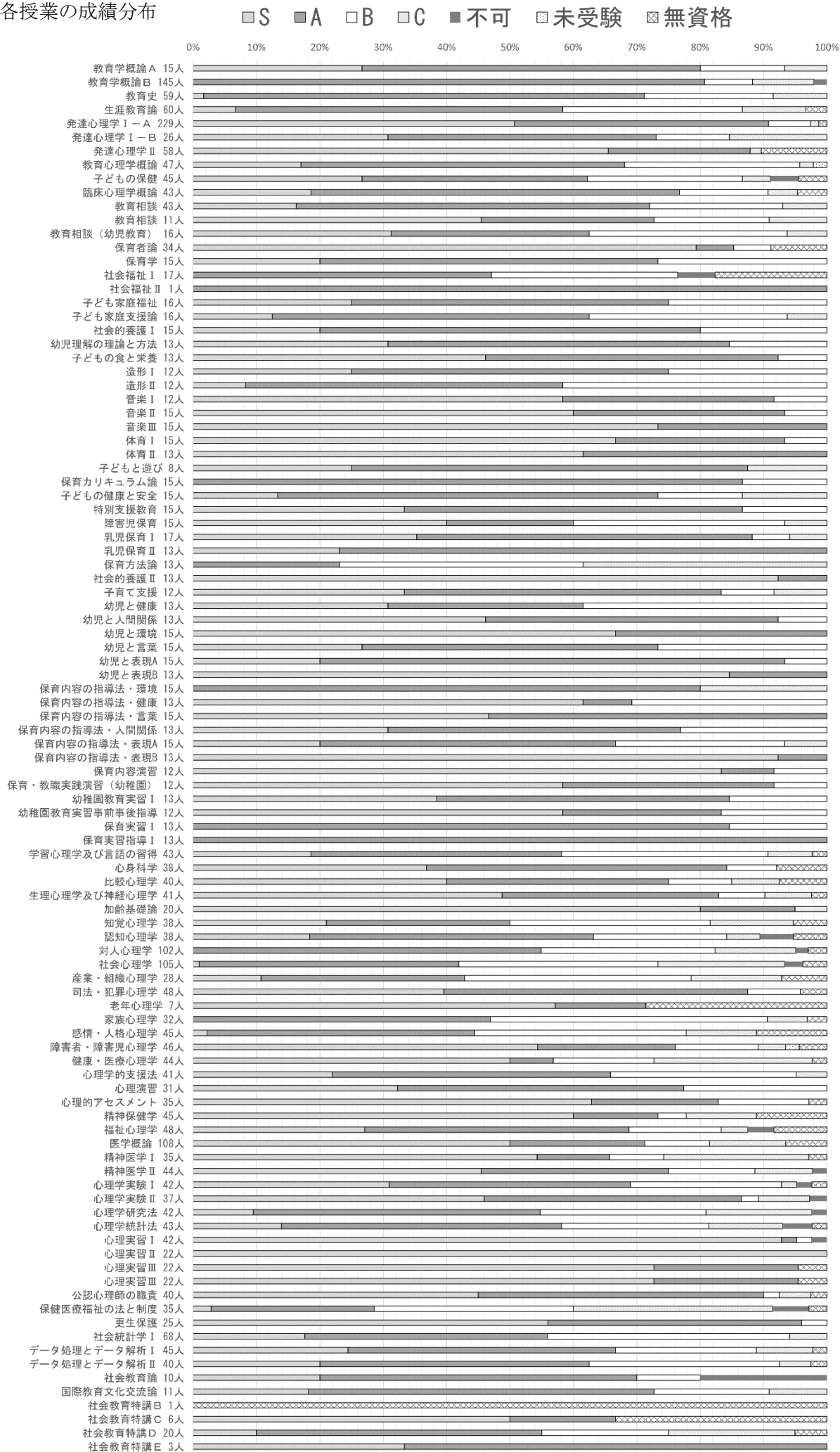
※本コメントは、問題点を指摘するものではありません。問題がないかを確認し、問題がない場合はこれで妥当であることを説明できるようにしてください。改善すべき点が見出された場合には、具体的な対策を立ててください。

（添付資料）

1. 2023年度学科別成績分布



2. 各授業の成績分布



人間形成学科 カリキュラムマップ

別表第6 人間形成学科専門教育科目

区分	授 業 科 目	単 位		授業 方法	開講時期（標準履修年次）				備考	DP1	DP2	DP3	DP4
		必修	選択		1年次	2年次	3年次	4年次					
基 幹 科 目 ＊1	教育学概論A		2	講義	2				2科目いずれか選択必修 Aは保育士・幼免必修	○			
	教育学概論B		2	講義	2					○			
	教育史	2		講義		2				○			
	生涯教育論	2		講義		2				○			
	発達心理学Ⅰ-A		2	講義	2					○			
	発達心理学Ⅰ-B		2	講義	2				保育士・幼免必修	○			
	発達心理学Ⅱ	2		講義	2				公認心理師必修	○			
	教育心理学概論（教育・学校心理学）		2	講義		2			公認心理師必修	○			
	子どもの保健		2	講義	2				保育士必修	○			
	臨床心理学概論		2	講義			2		公認心理師必修	○			
	教育相談（教育・学校心理学）		2	講義				2	公認心理師必修	○			
	教育相談（幼児教育）		2	講義				2	幼免必修	○			
	教育制度論（関係行政論）		2	講義			2		幼免・公認心理師必修	○			
展 開 科 目 （こどもコース）	保育者論		2	講義	2					○			
	保育学		2	講義		2				○			
	社会福祉Ⅰ		2	講義	2					○			
	社会福祉Ⅱ		2	講義				2		○		○	
	子ども家庭福祉		2	講義		2				○			
	子ども家庭支援論		2	講義		2				○	○		
	社会的養護Ⅰ		2	講義		2				○			
	子ども家庭支援の心理学		2	講義		2				○			
	幼児理解の理論と方法		2	☆演習			2		*2	○	○		
	子どもの食と栄養		2	演習			2		*2	○	○	○	
	造形Ⅰ		1	演習	1				*2		○		
	造形Ⅱ		1	演習	1				*2		○		
	音楽Ⅰ		2	演習	2				*2		○		
	音楽Ⅱ		1	演習		1			*2		○		
	音楽Ⅲ		1	演習		1			*2		○		
	体育Ⅰ		1	演習		1					○		
	体育Ⅱ		1	演習			1				○		
	保育カリキュラム論		2	講義		2				○	○		
	子どもの健康と安全		1	演習		1			*2	○	○		
	特別支援教育		1	演習		1				○	○	○	
	障害児保育		2	☆演習		2				○	○	○	○
	乳児保育Ⅰ		2	講義		2				○			
	乳児保育Ⅱ		1	演習			1		*2	○	○		
	保育方法論		2	講義			2			○			
	社会的養護Ⅱ		1	演習			1		*2	○	○	○	
	子育て支援		1	演習				1	*2	○	○		
	保育内容総論		2	☆演習		2			*2	○	○	○	
	幼児と健康		1	演習			1		*2	○	○		
	幼児と人間関係		1	演習			1		*2	○	○		
	幼児と環境		1	演習		1			*2	○	○		
	幼児と言葉		1	演習		1			*2	○	○		
	幼児と表現A		1	演習		1			*2	○	○		
	幼児と表現B		1	演習			1		*2	○	○		
	保育内容の指導法・健康		1	演習			1		*2	○	○	○	
	保育内容の指導法・人間関係		1	演習			1		*2	○	○	○	
	保育内容の指導法・環境		1	演習		1			*2	○	○	○	

心理 コ ー ス	保育内容の指導法・言葉		1	演習		1		* 2	○	○	○	
	保育内容の指導法・表現A		1	演習		1		* 2	○	○	○	
	保育内容の指導法・表現B		1	演習			1	* 2	○	○	○	
	保育内容演習		2	☆演習			2	* 2	○	○	○	○
	保育・教職実践演習（幼稚園）		2	☆演習			2	* 2		○		○
	幼稚園教育実習事前事後指導		1	実習			1	* 2		○	○	
	幼稚園教育実習Ⅰ		2	実習			2	* 2		○		○
	幼稚園教育実習Ⅱ		2	実習			2	* 2		○		○
	保育実習指導Ⅰ		2	演習			2	* 2		○	○	
	保育実習Ⅰ		4	実習			4	* 2		○		○
	保育実習指導Ⅱ-A		1	演習			1	* 2		○	○	
	保育実習Ⅱ-A		2	実習			2	* 2		○		○
	保育実習指導Ⅱ-B		1	演習			1	* 2		○	○	
	保育実習Ⅱ-B		2	実習			2	* 2		○		○
	学習心理学及び言語の習得（学習・言語心理学）		2	講義		2			○			
	心身科学		2	講義		2			○			
	比較心理学		2	講義		2			○			
	生理心理学及び神経心理学（神経・生理心理学）		2	講義		2			○			
	加齢基礎論		2	講義		2			○			
	知覚心理学（知覚・認知心理学）		2	講義			2		○			
	認知心理学（知覚・認知心理学）		2	講義			2		○			
	対人心理学		2	講義	2				○			
	社会心理学（社会・集団・家族心理学）		2	講義	2			公共社会学・社会福祉学科の「社会心理学」と共通	○			
	産業・組織心理学		2	講義			2		○			
	司法・犯罪心理学		2	講義		2			○			
	老年心理学		2	講義			2		○			
	家族心理学（社会・集団・家族心理学）		2	講義			2		○			
	感情・人格心理学		2	講義	2			公共社会学・社会福祉学科の「人格心理学」と共通	○			
	障害者・障害児心理学		2	講義		2			○			
	健康・医療心理学		2	講義		2			○			
	心理学的支援法		2	講義		2		* 3	○			
	心理演習		2	☆演習			2	* 3 演習時間：22.5時間		○	○	
	心理的アセスメント		2	☆演習			2	* 3		○	○	
	精神保健学		2	講義	2			社会福祉学科の精神保健学Ⅰと共通	○			
	福祉心理学		2	講義	2				○			
	医学概論（人体の構造と機能及び疾病）		2	講義	2			社会福祉学科の「医学概論」と共通	○			
	老年期医学		2	講義			2		○			
	精神医学Ⅰ（精神疾患とその治療Ⅰ）		2	講義			2	社会福祉学科の「精神医学Ⅰ」と共通	○			
	精神医学Ⅱ（精神疾患とその治療Ⅱ）		2	講義			2	社会福祉学科の「精神医学Ⅱ」と共通	○			
	心理学実験Ⅰ		2	☆演習		2		* 3		○	○	
	心理学実験Ⅱ		2	☆演習		2		* 3		○	○	
	心理学研究法		2	講義		2			○			
	心理学統計法		2	講義		2			○			
	心理実習Ⅰ		1	実習		1		* 3 実習時間：30時間		○		○
	心理実習Ⅱ		1	実習			1	* 3 実習時間：30時間		○		○
	心理実習Ⅲ		1	実習			1	* 3 実習時間：30時間		○		○
	公認心理師の職責		2	講義		2		* 3	○			
	保健医療福祉行政論Ⅰ（関係行政論）		1	講義		1		看護学科の「保健医療福祉行政論Ⅰ」と共通	○			
	更生保護（関係行政論）		2	講義			2	社会福祉学科の「更生保護」と共通	○			
	人的資源管理論（関係行政論）		2	講義		2		* 4 総合人間社会コースの「人的資源管理論」と共通	○			
	社会統計学Ⅰ		2	講義		2			○			
	データ処理とデータ解析Ⅰ		1	演習			1	* 4		○	○	
	データ処理とデータ解析Ⅱ		1	演習			1	* 4		○	○	
関 連 科 目	社会教育論		2	講義		2			○			
	図書館情報学		2	講義		(2)	2	隔年開講	○			
	国際教育文化交流論		2	講義			2		○			
	社会教育特講A		2	講義		2			○			
	社会教育特講B		2	講義			2		○			
	社会教育特講C		2	講義			2		○			
	社会教育特講D		2	講義	2				○			
	社会教育特講E		2	講義		2			○			
	キャリア論		2	講義			2	* 4	○			
	情報数学		2	講義		2		* 4	○			
	Webデザイン演習		1	演習		1		* 4		○		

プログラミング概論		2	講義		2		* 4	○			
情報ネットワーク論		2	講義		2		* 4	○			
データベース論		2	講義		2		* 4	○			
プログラミング演習		1	演習			1	* 4		○		
情報検索システム論		2	講義			2	* 4	○			
問題解決演習		1	演習		1		* 4		○		
組織マネジメント		2	講義			2	* 4	○			
ビジネス倫理		2	講義			2	* 4	○			
個人情報法制		2	講義			2	* 4	○			
演習	2		演習			2			○	○	○
卒業論文	6		演習			6			○	○	○

注1：授業方法欄の「☆演習」は、毎週1回（90分）で半期、原則として15回の授業となる。

2：「* 1」の基幹科目は必修科目6単位および選択必修科目2単位を含み、合計18単位の修得を卒業要件とする。

3：「* 2」はこどもコース、「* 3」は心理コースの学生のみ履修できる科目。

4：「* 4」は総合人間社会コースの科目。

2024年度 カリキュラム・ツリー（心理コース）

			1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
心理専門科目	心のしくみを知る	学習・知覚			学習心理学...		知覚心理学... 認知心理学...				
		生理			心身科学 比較心理学	生理心理学... 加齢基礎論					
	心を支える	発達・教育	発達心理学Ⅰ・A 発達心理学Ⅰ・B	発達心理学Ⅱ		教育心理学概論...	老年心理学				
		臨床			障害者・障害児 心理学 司法・犯罪心理学 心理実習Ⅰ	公認心理師の職責 健康・医療心理学 心理実習Ⅰ 心理学的支援法	臨床心理学概論 心理実習Ⅱ	心理演習 心理的アセスメント 心理実習Ⅲ	教育相談... 教育相談 (幼児教育) 心理実習Ⅲ		
		医学・保健	精神保健学	医学概論... 福祉心理学			精神医学Ⅰ	精神医学Ⅱ			
	人と関わる	社会・産業	対人心理学	社会心理学...				産業・組織心理 学	家族心理学...		
	心理学の基礎を 学ぶ	基礎知識	心理学概論	感情・人格心理学							
		研究法・統計			心理学統計法 社会統計学Ⅰ	心理学研究法	データ処理と データ解析Ⅰ	データ処理と データ解析Ⅱ			
		実験・演習			心理学実験Ⅰ	心理学実験Ⅱ	演習（ゼミ）		卒業論文		
隣接領域科目	いろいろな見方・ 考え方を学ぶ	学科基幹科目 (心理専門科目 以外)	教育学概論 B	子どもの保健	教育史	生涯教育論		教育制度論...			
		学科展開科目 学科関連科目	社会福祉Ⅰ	社会教育特講 D	障害児保育 子ども家庭福祉 乳児保育Ⅰ	社会教育論 社会教育特講 E 人的資源管理論 保健医療福祉 行政論Ⅰ...	社会教育特講 B	更生保護... 子ども家庭支援論 キャリア論 社会教育特講 C	社会福祉Ⅱ		
		他学科開設科目 両学部で学ぶ 専門的連携科目	社会福祉学概論Ⅰ 不登校・ひきこ もり援助論 社会調査法	社会福祉学概論Ⅱ 子供学習支援論	社会病理学 家族社会学 A	家族社会学 B					
基礎科目：学ぶ基礎づくり		基盤教育科目	人文科学・社会科学・自然科学・総合科目・外国語（必須／選択）・情報処理・健康科学・基礎ゼミ								

	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
保育・教育の 基礎的理解	発達・支援 方法の理解 ■発達心理学Ⅰ-A ●発達心理学Ⅰ-B ■発達心理学Ⅱ ■子どもの保健	子ども家庭支援の心理学	■子どもの食と栄養 ◆幼児理解の理論と方法 ■臨床心理学概論	◆教育相談（幼児教育）
	保育・教育 の基礎知識 教育学概論A ●保育者論 ■社会福祉Ⅰ	教育史 ◆生涯教育論 ●保育学 ■子ども家庭福祉 ■子ども家庭支援論 ■社会的養護Ⅰ	◆教育制度論（関係行政論）	■社会福祉Ⅱ
保育内容 保育方法	保育内容 （基礎技術） ●音楽Ⅰ ●造形Ⅰ ●造形Ⅱ	●音楽Ⅱ ●体育Ⅰ ●音楽Ⅲ	●体育Ⅱ	
		●保育カリキュラム論 ■子どもの健康と安全 ■乳児保育Ⅰ ◆特別支援教育 ■障害児保育	●保育方法論 ■社会的養護Ⅱ ■乳児保育Ⅱ	■子育て支援
	保育内容 （領域と指導法）	●保育内容総論 ●幼児と環境 ●幼児と言葉 ●幼児と表現A ●保育内容の指導法・環境 ●保育内容の指導法・言葉 ●保育内容の指導法・表現A	●幼児と健康 ●幼児と人間関係 ●幼児と表現B ●保育内容の指導法・健康 ●保育内容の指導法・人間関係 ●保育内容の指導法・表現B	●保育内容演習
			■保育実習Ⅰ・Ⅱ-A/B ■保育実習指導Ⅰ・Ⅱ-A/B ◆幼稚園教育実習事前事後指導 ◆幼稚園教育実習	総合演習 ●保育・教育実践演習 （幼稚園）
研究		ゼミ（卒業論文）	演習	卒業論文
教養	人文科学・社会科学・自然科学・複合領域 外国語（必須／選択）情報処理・健康科学・基礎ゼミ 等			
主な 学修内容	教養科目＋ 保育・教育の基礎＋ 基礎技術（音楽・造形）	教養科目＋ 保育・教育の基礎＋ 保育の方法と内容	保育・教育の基礎＋ 保育の方法と内容＋ 実習＋演習（ゼミ）	保育・教育の支援法＋ 保育・教育の総合演習＋ 卒業論文（ゼミ）

学科基幹科目（下線）
■保育士資格科目
◆幼稚園教諭免許科目
●保育士資格・幼稚園教諭免許共通科目

3 年 6 月 保育実習Ⅰ（保育所）
3 年 8 ～ 9 月 保育実習Ⅰ（施設）
3 年 10 ～ 11 月 幼稚園教育実習Ⅰ
3 年 2 ～ 3 月 幼稚園教育実習Ⅱ
3 年 3 月 保育実習Ⅱ-A（保育所）
または保育実習Ⅱ-B（施設）